

「いじめをなくそう」

天理小学校 6年 坂本 陽乃

以前、いじめについて授業を受けました。そこで、改めていじめの危険性について知り、いじめは絶対にあってはならないことだと気付かされました。いじめが原因で亡くなる人もいます。なので、いじめは本当に怖いものです。でも、いじめを受けた側の人、いじめをしてきた人に対して仕返しをすることもあるんじゃないかと思いました。仕返しの度が過ぎて、犯罪に手を染めてしまうこともあるかもしれない、そう思い、インターネットで調べてみました。すると、本当にそのようなこともあったみたいです。いじめをした側もいじめの内容によっては犯罪に至ることもあるそうです。

いじめをなくすというのは、とても難しいことです。なぜ、いじめをしたのか、いじめの原因について調べてみると、「不満・ストレスのはけ口としていじめが起きる」とありました。人間、誰しも不満やストレスが溜まります。私だってそうです。だけど、その不満やストレスを人にぶつけて発散してはいけません。私も、自分の中でおさめるようにしています。ですが、いじめる側の心の問題なので、他人が解決できるようなことでありません。いじめを防止するには、まずストレスが溜まるような環境から救ってあげる必要があります。

そこで、私達にできることはどんなことかも調べてみました。いじめの原因には、さっき紹介したものだけでなく、誰かに認められたい、褒めてもらいたいという自尊心からくるものもあるみたいです。友達が加害者にならないようにするため、私達は、友達を認め、必要な心の栄養を十分に与えてあげる、このようなことができます。友達を丸ごと受け止めて、自分を大切に思う自己肯定感、相手を思いやる気持ちを育てあげます。そのためにも、抱きしめてあげたり、話すことや行うことを認めたり、褒めてあげるなど、温かい言葉をかけてあげることが必要です。また、「ありがとう」や「ごめんなさい」などの感謝や謝罪の言葉をかけることも、自己肯定感が高まり、効果的だそうです。いじめを徹底的になくすことは難しくても、私にできることもあるんだなと思いました。

いじめを少しでも防止するため、私にもできることは、率先してやっていきたいです。そして、いじめでの被害やいじめから犯罪につながるようなことがなくなってほしいなと思います。いつかこんな世界がくることを願っています。